



東証プライム : 5262

 **NIPPON HUME**
日本ヒューム株式会社

2024年3月期 決算説明会資料

2024年5月14日



目次

1. 会社概要
2. 2024年3月期業績説明
3. 2025年3月期業績予想
4. 「23-27計画R」における取り組み状況
5. その他トピックス

1

会社概要

日本ヒュームグループの事業概要

- ▶ 北海道を拠点に金属製品およびコンクリート製品の事業を展開する鋼商社を子会社化。
- ▶ 連結子会社：9社、持分法適用関連会社：6社を含むグループで社会基盤の整備に貢献

下水道関連事業

- ヒューム管、セグメントなどコンクリート製下水道関連製品の製造
- PGF・壁高欄などコンクリート製道路関連製品、その他プレキャストコンクリート製品の製造
- 下水道関連の工事（管渠更生など）

<連結子会社>

- ・ 東邦ヒューム管株式会社
- ・ 日本ヒュームエンジニアリング株式会社

太陽光発電・不動産事業

- 不動産の賃貸、管理及び開発
- 発電および売電に関する事業
- 環境関連機器の販売及びメンテナンス

<連結子会社>

- ・ 株式会社環境改善計画
- ・ 株式会社ヒュームズ

環境・衛生システム(コンサル)

株式会社環境改善計画

- オゾン脱臭システム
- 環境（空気・水等）の浄化システム
- 環境・衛生コンサルティング

基礎事業



パイル施工



パイル製造

下水道関連事業



PCウェル



RCセグメント



管更生（3Sセグメント工法）



壁高欄

太陽光発電・不動産事業



新橋NHビル



太陽光発電所

基礎事業

- コンクリートパイルの製造・販売
- コンクリートパイルの施工
- コンクリート製品用型枠の販売
- コンクリート製品用資材の販売

<連結子会社>

- ・ ニッポンヒュームインターナショナルリミテッド 他海外1社

その他事業

- レンタル事業

鉄工・鉄筋

株式会社鋼商（2024年3月期に子会社化）

技工曙株式会社

株式会社エヌエイチ・フタバ

- 管路用・基礎用製品の型枠、及びその周辺部品

2

2024年3月期業績説明

① 連結損益計算書

➤ 今年度は、営業利益及び持分法投資損益で計画を上回る

(単位：百万円、%)

	2023年3月期 実績		2024年3月期 実績				2024年3月期 計画		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比		金額	実績比	
					増減額	増減率		増減額	増減率
売上高	31,876	100.0	33,732	100.0	+1,855	+5.8	32,300	+1,432	+4.4
営業利益	1,236	3.9	1,381	4.1	+145	+11.8	1,300	+81	+6.3
経常利益	2,102	6.6	2,391	7.1	+289	+13.8	2,150	+241	+11.2
当期純利益 (※)	1,642	5.2	1,912	5.7	+270	+16.4	1,650	+262	+15.9
減価償却費	607	-	700	-	+92	+15.3	-	-	-
設備投資	800	-	624	-	△175	△22.0	-	-	-

(※)親会社株主に帰属する四半期純利益

② 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2023年3月 期末	2024年3月 期末
流動資産	28,933	32,556
(現金及び預金)	12,462	14,391
(棚卸資産)	4,115	4,212
固定資産	26,045	29,522
(有形固定資産)	9,460	9,636
(無形固定資産)	190	184
(投資その他の資産)	16,395	19,700
資産合計	54,979	62,079

(単位：百万円)	2023年3月 期末	2024年3月 期末
流動負債	12,939	15,656
(短期借入金)	1,070	1,448
固定負債	3,839	4,823
負債合計	16,778	20,479
株主資本	36,591	37,773
(自己株式)	△2,574	△2,765
純資産合計	38,201	41,599
負債・純資産合計	54,979	62,079

③ 2024年3月期業績総括（連結）

- 基礎事業では、売価改善と関東・東北地区の受注大幅増により増収増益
- 下水道関連事業は、浸水対策工事や大型案件の発注遅延が影響して減収

【売上高】 連結売上高 33,732百万円 前期比+1,855百万円 +5.8%

基礎事業	21,924百万円	+ 2,005百万円 + 10.1%	● 全体需要減少も関東・東北地区の受注増により売上増
下水道関連事業	10,269百万円	△ 194百万円 △ 1.9%	● 概ね前期並みを維持
太陽光発電・不動産事業	1,471百万円	+ 31百万円 + 2.2%	
その他事業	67百万円	+ 13百万円 + 25.6%	

【営業利益】 連結営業利益 1,381百万円 前期比+145百万円 +11.8%

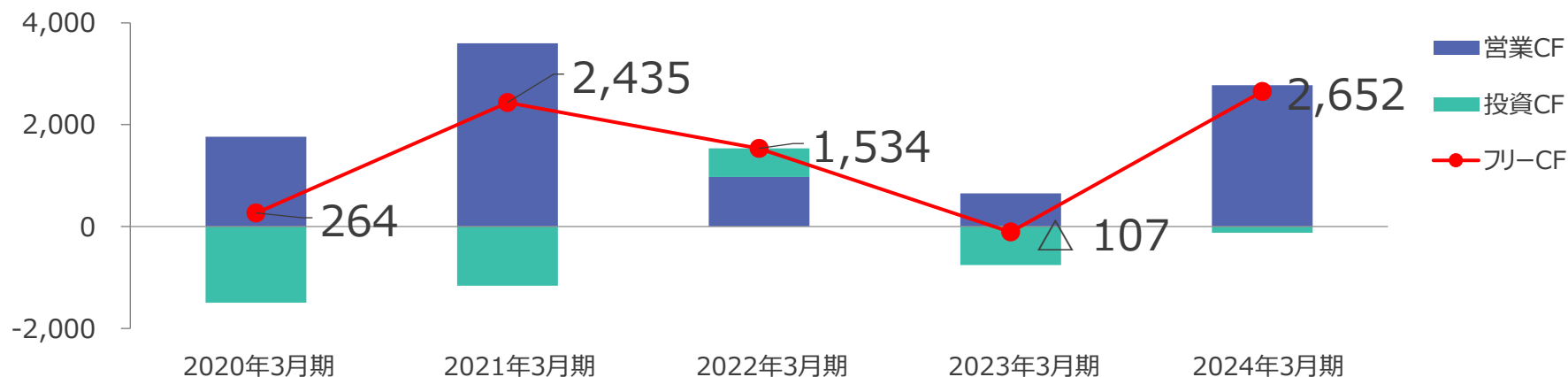
基礎事業	1,161百万円	+ 838百万円 + 259.6%	● 売価改善が進んだことによる大幅増益
下水道関連事業	1,272百万円	△ 408百万円 △ 24.3%	● 高付加価値製品の発注遅延による減収
太陽光発電・不動産事業	815百万円	+ 7百万円 + 1.0%	
その他事業	53百万円	+ 12百万円 + 29.9%	

(注) 営業利益には、調整額△1,920百万円は含まれておりません。

④ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	649	2,774	+2,124
投資活動によるキャッシュ・フロー	△757	△ 121	+635
財務活動によるキャッシュ・フロー	△519	△ 790	△271
現金及び現金同等物の期末残高	12,418	14,304	+1,885



セグメント別業績推移

(単位：百万円)

2022年3月期	基礎事業	下水道関連事業	太陽光発電・不動産事業	その他事業	調整額	合計
売上高	16,837	11,168	1,482	57	△44	29,501
営業利益	234	1,914	801	45	△1,547	1,449
営業利益率	1.4%	17.1%	54.1%	79.0%	—	4.9%
2023年3月期						
売上高	19,925	10,464	1,478	53	△45	31,876
営業利益	322	1,680	807	41	△1,615	1,236
営業利益率	1.6%	16.1%	54.6%	76.6%	—	3.9%
2024年3月期						
売上高	21,957	10,269	1,510	67	△72	33,732
営業利益	1,161	1,272	815	53	△1,920	1,381
営業利益率	5.3%	12.4%	54.0%	79.2%	—	4.1%

3

2025年3月期業績予想

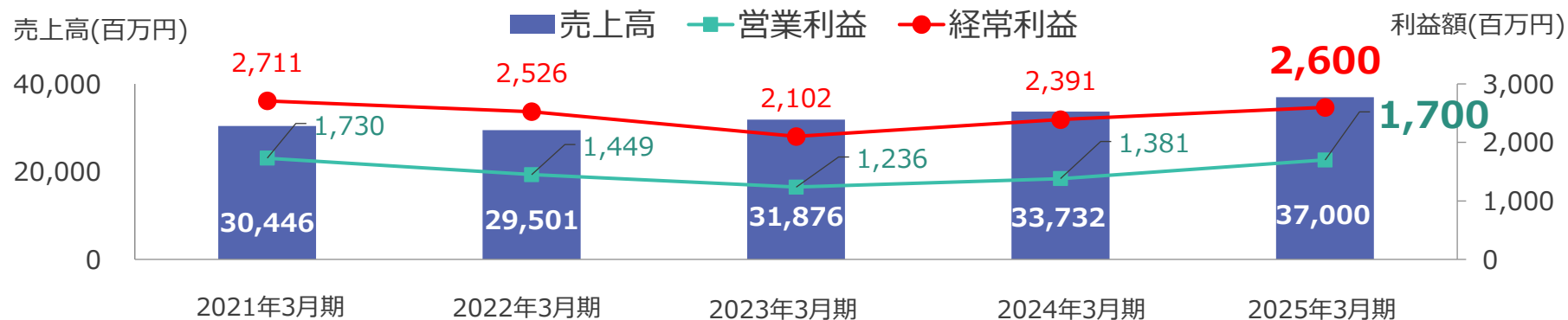
2025年3月期連結業績予想

➤ 2024年3月期を上回る増収増益の見通し

(単位：百万円、%)

	2024年3月期		2025年3月期予想			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	
					増減額	増減率
売上高	33,732	100.0	37,000	100.0	+3,267	+9.7
営業利益	1,381	4.1	1,700	4.6	+318	+23.0
経常利益	2,391	7.1	2,600	7.0	+208	+8.7
当期純利益(※)	1,912	5.7	2,000	5.4	+87	+4.6

(※)親会社株主に帰属する当期純利益



2025年3月期連結業績予想②

- 基礎事業では、上半期及び下半期とも出荷・工事が堅調に推移する見通し
- 下水道関連事業は、官庁土木工事向けの出荷・工事が増加し大幅増益の見通し

【売上高予想】 連結売上高 37,000百万円 前期比+3,267百万円 +9.7%

基礎事業	23,320百万円	+1,395百万円 + 6.4%	● 出荷・工事が堅調に推移する見込み
下水道関連事業	12,130百万円	+1,860百万円 + 18.1%	● 出荷・工事増により増加の見込み
太陽光発電・不動産事業	1,470百万円	△ 1百万円 △ 0.1%	
その他事業	80百万円	+ 12百万円 + 18.2%	

【営業利益予想】 連結営業利益 1,700百万円 前期比+318百万円 +23.0%

基礎事業	1,200百万円	+ 38百万円 + 3.3%	● 売上高の進捗と同様に推移する見込み
下水道関連事業	1,870百万円	+ 597百万円 + 47.0%	● 高付加価値製品の発注等により増収を見込む
太陽光発電・不動産事業	820百万円	+ 4百万円 + 0.6%	
その他事業	60百万円	+ 6百万円 + 11.9%	

(注) 営業利益には、調整額△2,250百万円は含まれておりません。

4

「23-27計画R」における取り組み状況

4-1

M&A (サプライチェーン強化戦略)

M&A

株式会社鋼商の子会社化に伴う買収シナジー

日本ヒューム
プレキャストコンクリート製品工場



<目的①>
来たるプレキャスト製品時代、
大型化に向けて、鋼材を含め
た製品開発の加速

<目的②>
鋼材事業の強化(両社の発展)

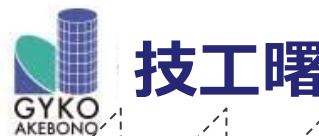
規模拡大



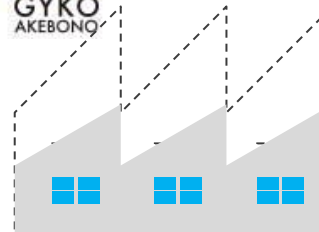
鋼商



ヒューム管継手、パイル継手、
プレキャスト継手



技工曙



ヒューム管継手

取扱製品強化
(技工曙の事業拡大)

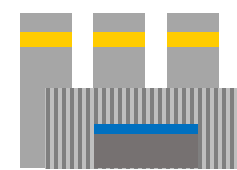
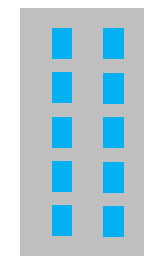
型枠

鉄筋カゴ

継手

ヒューム管		NH	鋼商	技工曙
パイル		NH	鋼商	
プレキャスト	鋼商	鋼商	セグメント一部:NH 今後の強化	

グループ外の部材メーカー



<目的③> 連携強化

株式会社鋼商の概要

所在地：北海道勇払郡安平町追分539番地2

設立：1965年10月

資本金：30百万円

従業員数：66人（2023年6月）

事業内容：鉄鋼・鉄鋼二次製品の加工販売
コンクリート二次製品の製造販売

売上高：3,329百万円（2023年12月期）

URL: <https://cosho.jp/>



4-2

部門別戦略

経営基盤に係る戦略（200年企業に向かうための構造改革）の進捗

2024年3月期末までの進捗

営業部門

➤ 組織営業体制の強化

- ① 技術営業体制の構築
- ② 営業活動の全社バックアップ

➤ 情報化武装強化

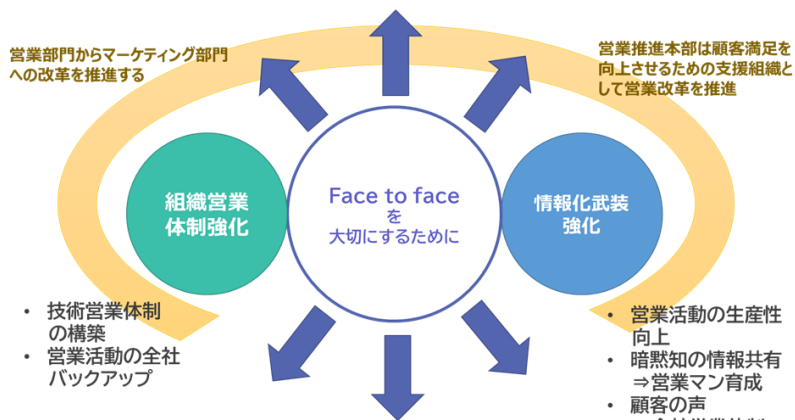
- ① 営業活動の生産性向上
- ② 暗黙知の情報共有（営業マン育成）
- ③ 顧客の声（全社営業体制）

⇒営業部門からマーケティング部門への新化

⇒営業推進本部による営業改革

『23-27計画R』営業戦略

組織営業体制強化、情報化武装により顧客接点を強化し、事業拡大を目指す



□ 営業部門からマーケティング部門への新化

2023年 4月～ 課題抽出/「仕組み化」検討

2023年 7月 CRM(顧客管理システム)導入
試用開始

2023年12月～ 本運用開始

□ 組織営業体制の強化

① 予材管理導入(営業案件予材量80%UP)

⇒計画を達成する組織への改革
(トップマネジメント強化)



② 顧客の見える化

⇒人脈形成の組織的対応



③ 顧客の声

⇒営業クロージング後の顧客評価の収集及び
新規ソリューション開発への要望の収集

《24年度》

① CRMツール(顧客管理システム)の活用により
全部門が有機的につながる組織営業体制の構築

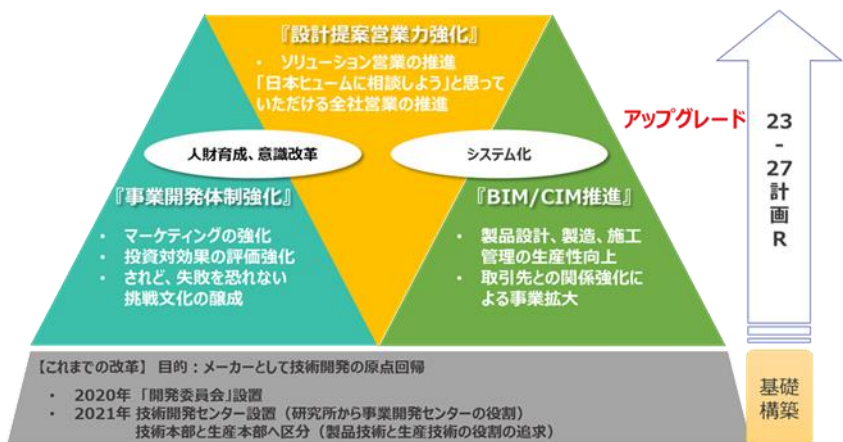
② データベース化による組織～個人までの目標管理
及びマネジメントの強化

技術部門

- 設計提案営業力強化
 - ①ソリューション営業の推進
- 事業開発体制強化
 - ①マーケティングの強化
 - ②投資対効果の評価強化
 - ③失敗を恐れない挑戦文化の醸成
- BIM/CIM推進
 - ①製品設計、製造、施工管理の生産性向上
 - ②取引先との関係強化による事業拡大

『23-27計画R』技術戦略

技術経営の推進 -「技術は営業に責任をもつ」意識改革と事業創出-



□ 設計提案営業力強化

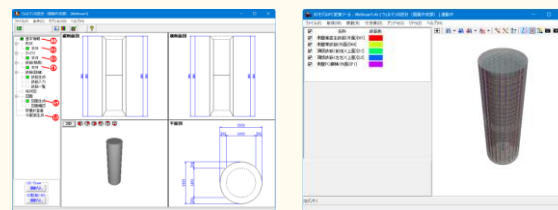
提案件数を増やすためのDX化を推進

①効率アップによる提案数増大

- ・ PCウェル工法設計ソフト改良

⇒1件あたりの作業時間80%削減の効率化達成

各事業拠点に展開し運用中



- ・ プレキャスト(以下、PCaと称す)製品の自動割付システム開発着手

⇒1件あたりの作業時間70%削減の効率化

(2025年3月完了予定)

②設計技術支援による提案数増大

- ・ 本社設計センターによる拠点支援

⇒ (37件/年実施→今期60件目標)

- ・ 本社からの設計支援による各拠点の設計力育成

経営基盤に係る戦略（200年企業に向かうための構造改革）の進捗

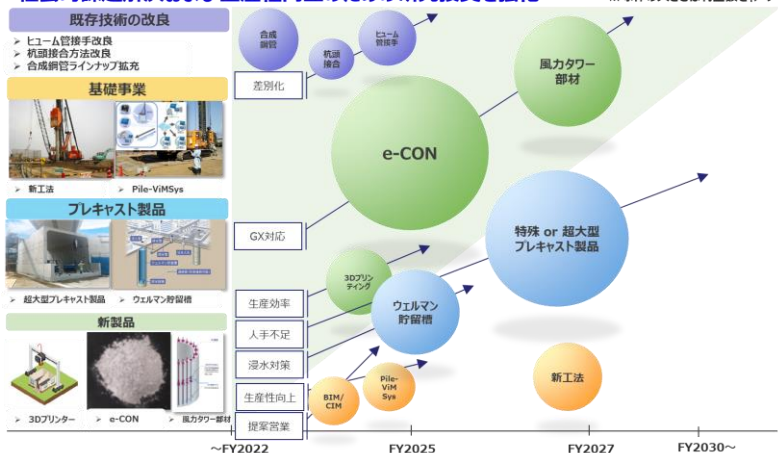
2024年3月期末までの進捗

技術開発投資

- 既存技術の改良
地震時人孔側塊目地ずれシート工法、杭頭処理 他
- 基礎事業
新工法・Pile-ViMSys 他
- プレキャスト製品
超大型プレキャスト、ウェルマン貯留槽 他
- 新製品
3Dプリンター、e-CON、風カタワー部材 他

『23-27計画R』技術開発投資

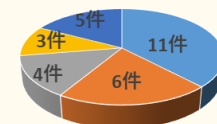
社会的課題解決および生産性向上のための研究投資を強化 ※球体の大きさは利益額をイメージ



- 真のニーズによる事業開発
当事者意識による事業開発（5部門の連携強化）

《23年度》

- ・ 『ViMSys Camera』の開発
- ・ PCウェル工法設計ソフト改良



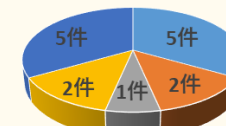
合計29件実施

- 既存事業強化
- 事業領域拡大
- 次世代技術
- 脱炭素
- 基礎研究(探索事業)

《24年度》

創立100周年に向けた開発体制の構築

選択と集中による事業化の加速



合計15件実施予定

- 既存事業強化
- 事業領域拡大
- 次世代技術
- 脱炭素
- 基礎研究(探索事業)

- ・ 3Dプリンティング
⇒実製品の製造出荷/次世代型製造の可能性模索
- ・ 杭頭処理（杭頭処理作業 90%削減）
⇒進捗率70%（2024年10月完了予定）
- ・ 杭新工法
⇒進捗率70%（2024年9月完了予定）

経営基盤に係る戦略（200年企業に向かうための構造改革）の進捗

2024年3月期末までの進捗

生産部門

➤ 設備投資

- ①低炭素型高機能コンクリート e-CON®対応設備
- ②カーボンニュートラル/環境対応

➤ 間接業務IT化推進

- ①品質管理帳票の電子化

➤ 品質・安全強化

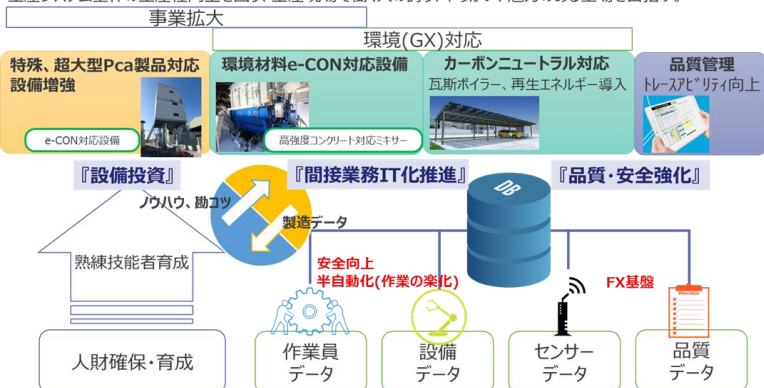
- ①設備及び品質管理システムの導入

『23-27計画R』生産戦略

※FX: factory transformation、環境対応、人口減少などに対応した工場を意味する

社会基盤を支える製品工場として、事業環境に対応したFXの基盤構築を目指す

コンクリート製品工場は、場所が固定した建設現場と言える。一足飛びの完全なオートメーションは時期尚早だが、生産システム全体の生産性向上を図り、生産現場で働く人の誇り、やりがい、魅力のある工場を目指す。



□ 環境対応投資推進

- CN対応（ガスボイラー）
重油と比較してCO2排出量を削減
熊谷工場で2021年度比CO2
排出量30%削減



- 低炭素型高機能コンクリート e-CON®の事業化推進
国土交通省港湾工事で、海洋構造物として採用



□ 設備管理、品質管理の強化

- 属人的管理+デジタル化による効率化



暗黙知の形式化
(将来はAIによる
一部置換)

• 主な設備投資

- 熊谷 ガスボイラー
- 熊谷 e-CON 専用サイロ etc



経営基盤に係る戦略（200年企業に向かうための構造改革）の進捗

2024年3月期末までの進捗

生産部門

➤ 設備投資

- ①低炭素型高性能コンクリート e-CON®対応設備
- ②カーボンニュートラル/環境対応

➤ 間接業務IT化推進

- ①品質管理帳票の電子化

➤ 品質・安全強化

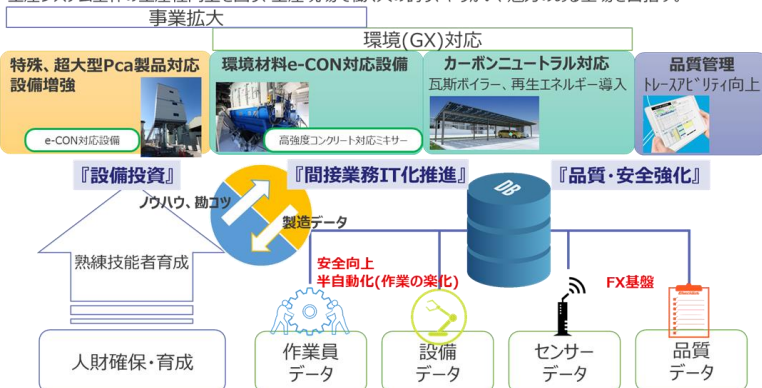
- ①設備及び品質管理システムの導入

『23-27計画R』生産戦略

※FX：factory transformation、環境対応、人口減少などに対応した工場を意味する

社会基盤を支える製品工場として、事業環境に対応したFXの基盤構築を目指す

コンクリート製品工場は、場所が固定した建設現場と言える。一足飛びの完全なオートメーションは時期尚早だが、生産システム全体の生産性向上を図り、生産現場で働く人の誇り、やりがい、魅力のある工場を目指す。



□ 3Dプリンティング技術による型枠レス製造



□ 安全の強化

トップによる安全パトロール



《24年度》

✓ 設備、品質管理の強化

- ・IoTセンサーによる設備データ、安全対策強化
- ・データによる投資効果の見える化
- ・品質管理書類のデジタル化対象の拡大
(全工場へ展開、及びすべての品種へ拡大)

✓ 3Dプリンターによる大型構造物、自由構造物の製造（範囲拡大）

経営基盤に係る戦略（200年企業に向かうための構造改革）の進捗

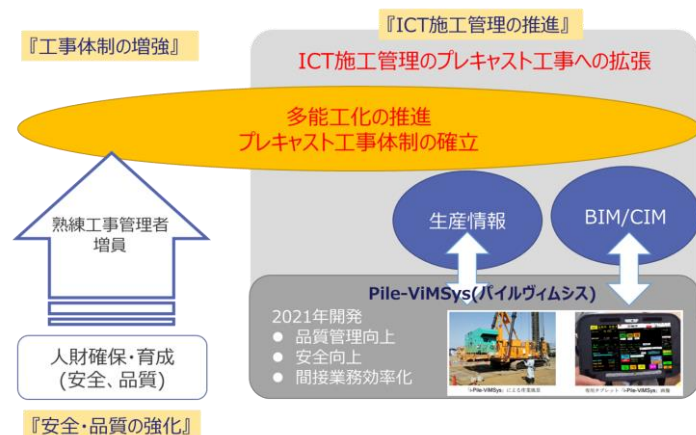
2024年3月期末までの進捗

工事部門

- 安全・品質の強化
 - ①人財育成、安全研修の充実
 - ②安全パトロールの増加
- 工事体制の強化
 - ①採用強化
 - ②多能工化の推進とプレキャスト工事体制確立
- ICT施工管理の推進
 - ①ICT施工管理装置のプレキャスト工事への拡張

『23-27計画R』工事戦略

「品質と安全」「体制」を強化することで、選ばれる工事を旨す



□ 安全の強化

トップによる安全パトロール



□ 工事体制の強化

- ・採用強化 計画通り3名採用

□ ICT施工管理による働き方改革

- ・『Pile-ViMSys』の全国展開
導入現場の作業時間61%削減⇒ 常時14現場で導入

《24年度》

- ・『ViMSys Camera』のPCa対応
⇒ PCa工事（PCウエル）の施工管理の効率化
- ・『Pile-ViMSys』データの分析・活用
⇒ リスクヘッジに向けたシステム開発

経営基盤に係る戦略（200年企業に向かうための構造改革）の進捗

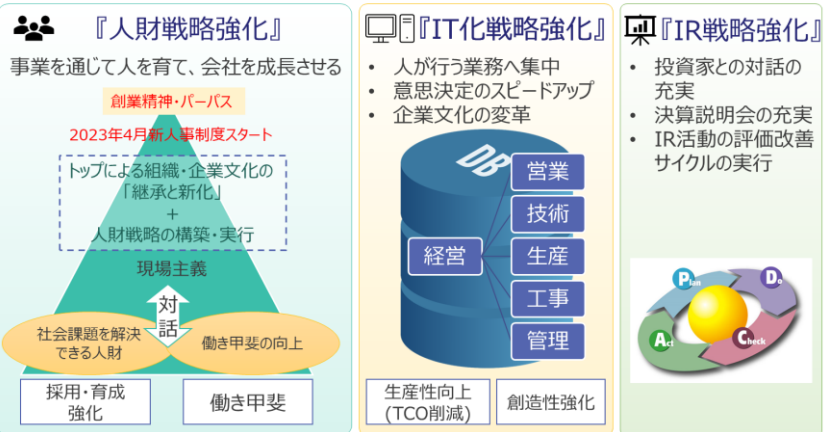
2024年3月期末までの進捗

管理部門

- 人財戦略強化
 - ① トップによる組織・企業文化の「継承と新化」
 - ② 新人事制度
- IT戦略強化
 - ① システム導入支援
- IR戦略強化
 - ① 投資家との対話の充実

『23-27計画R』管理戦略

人財戦略、デジタル化、IR強化を通じて企業価値の向上を目指す



- 人材を人財へ
 - ✓ トップによる人材育成
 - 社内SNS「Mtimes」を毎日配信
 - ⇒ 考え方や取組みを啓蒙
 - 全拠点において車座会議開催
 - ⇒ 直接対話による人材育成
 - ✓ HR、採用強化体制整備
 - ✓ 従業員エンゲージメントアンケート調査実施
- IR戦略強化
 - ⇒ 機関投資家向けIR面談増(今年度14件←昨年4件)
 - M&A、政策保有株式の売却、株主還元強化
 - ⇒ 個人投資家向けのIR戦略強化
 - 株主優待、IRフェア出展予定(2024/7/12~14)

《24年度》

- トップによる選抜育成（M塾開催）
- Mtimes、車座会議の継続
- 教育制度の充実
- AI活用の模索

4-3

事業セグメント別戦略

基礎事業

重点施策「基礎事業の採算改善と安定化」「デジタル化によるトランスフォーメーション」

対処すべき課題(※)

2024年3月期末での取組内容と成果

➤ 営業利益向上策

- 売価改善、大型案件の受注により営業利益率は**前期1.6%から当期には5.3%へと大幅改善、営業利益額も大幅増**

➤ 中掘工法の拡大 ➤ 新工法開発

- 新工法は24年9月完了予定
- 環境対策をPRし拡販を図る

新工法	既存工法	他社工法
65%	88%	100%

※CO2排出量当社調べ

➤ ICTツールの稼働拡大 (PCa製品への展開)

Pile-ViMSys®
(パイルヴィムシス)

ViMSys Camera
(ヴィムシスカメラ)

稼働拡大中(2024年3月末時点 14台稼働)

今後更なるデジタル化の伸長、施工品質のトレーサビリティ向上に向けて
PCウェル工法でもICT施工管理装置2024年度の完成を目指す

(※)23-27計画R事業戦略より

下水道事業

重点施策「創業以来の下水道事業のトータルソリューション増強」

対処すべき課題

- 高付加価値製品の販売拡大

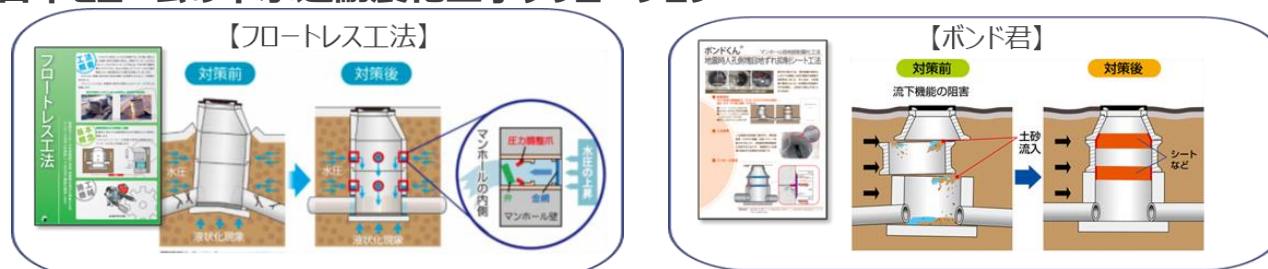
2024年3月期末での取組内容と成果

2024年3月期は、当社が得意とする雨水浸水対策工事の発注遅延や大型案件の遅延・中止などの影響により前年比で減収となる。

2025年3月期以降は、雨水浸水対策工事の発注が見込まれていることから大幅な増額を見込む。

- 下水道耐震化工事の提供エリア拡大

日本ヒュームの下水道耐震化工事ソリューション



【下水道既設管路耐震協会調べ】

能登半島地震における、下水道関連耐震化工法の追跡調査結果

- ・消散弁の機能が発揮され、マンホール浮上抑制効果が確認されました。
- ・ガリガリ君施工箇所では、管口部の損傷等確認されず流下機能の確保が確認されました。



プレキャスト事業①

重点施策「プレキャスト製品事業の増強」「コンクリート製品テクノロジーによる高付加価値製品の増強」

対処すべき課題

2024年3月期末での取組内容と成果

➤ プレキャスト製品事業の強化



【外殻鋼製2分割ウェルマン】

- ・PCウェル
各部門の取り組みによる売上増継続
営業部門「組織営業体制強化」
技術部門「DX化による設計効率向上」
「本社による拠点設計支援」



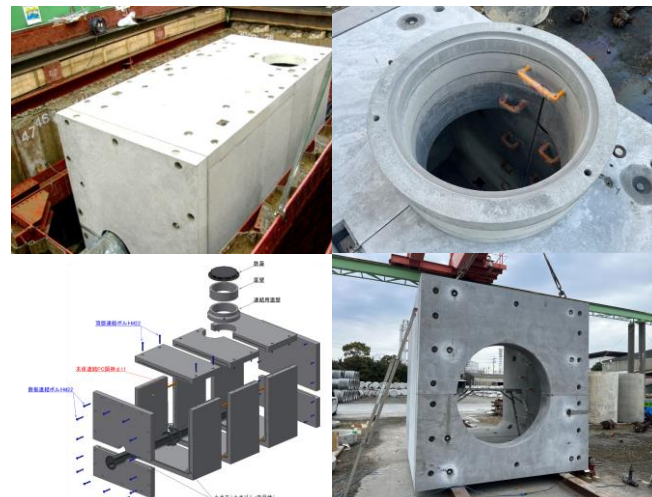
2024年度前年比売上10%増、
予材量増大を見込む

➤ 社会インフラへの技術提案力強化

- ・バルブボックス
上下水道事業の広域化・再構築による基本設計が現場打ちである弁室をターゲットとしたプレキャスト製品『バルブボックス』の拡販を実施



2024年度前年比売上20%増、
3年後に100基5億円を目指す



プレキャスト事業②

重点施策「プレキャスト製品事業の増強」「コンクリート製品テクノロジーによる高付加価値製品の増強」

対処すべき課題

2024年3月期末での取組内容と成果

➤ 道路用PCa製品の拡販

- ・プレキャストガードフェンスやプレキャスト壁高欄の売上高が**前期比1.6倍**に伸長



【プレキャストガードフェンス】 【プレキャスト壁高欄】

- ・今後販売地域の拡大、更なる売上増加を目指す

➤ 3Dプリンターの導入

- ・3Dプリンティングによる実製品の製造及び出荷を開始



【3Dプリンティングによる製品】

来期はロボットアーム等を活用した様々な形状の3DプリンティングPCa製品の開発及び専用モルタルの開発に取り組む

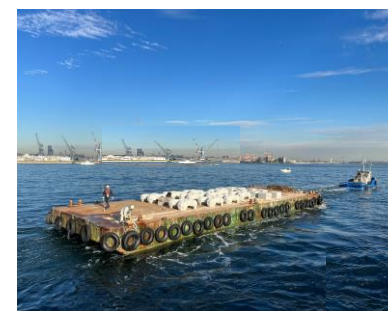
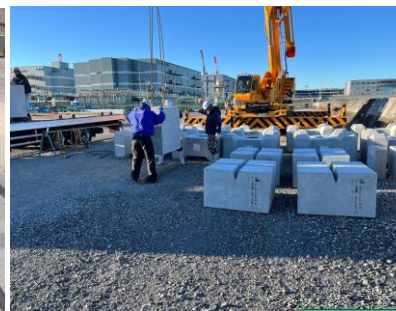
プレキャスト事業③

重点施策「プレキャスト製品事業の増強」「コンクリート製品テクノロジーによる高付加価値製品の増強」

対処すべき課題

2024年3月期末での取組内容と成果

低炭素型高機能コンクリート「e-CON[®]」製のPCa製品(海洋構造物)が、実物件にて**出荷**されました。



➤ 脱炭素コンクリートへの対応

「e-CON[®]」の特徴

- ・CO2発生量を普通コンクリートから約80%削減
- ・普通コンクリートに比べ、耐塩害性5倍・耐酸性10倍以上の長寿命コンクリート
- ・特別な製造設備が不要

「e-CON[®]」の今後の展開について

- ・様々な現場での採用を目指してPR活動中
港湾、下水道、上水道、道路、河川等
- ・全国で製造販売できるネットワークづくりに向けて活動中

4-4

ESG戦略

ESG戦略

- 福岡県SDGs登録業者
- 『パートナーシップ構築宣言』

福岡県SDGs登録

当社の九州支社が福岡県SDGs登録業者に登録されました。

SDGsの活動では、[「福岡県SDGs登録制度」](#)に賛同し、e-CONをはじめとした環境に良い当社製品を用い、福岡県内のSDGsに積極的に取り組む活動を促進しております。



『パートナーシップ構築宣言』

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進める事で、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかけることによるサプライチェーン全体での付加価値向上や、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。

2. 『振興基準』の遵守

下請中小企業振興法に基づく『振興基準』を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行の是正に積極的に取り組みます。

(1) 価格決定方法

不合理な原価低減要請は行いません。

(2) 支払条件

原則として現金で支払います。サイトを60日以内とするよう努めます。

(3) 知的財産ノウハウ

片務的な秘密保持契約、知財無償譲渡は求めません。

(4) 働き方改革対応

不適切な短納期発注や、急な仕様変更を行いません。

ESG戦略

- 健康経営2024取得
- 能登地震対応

健康経営2024取得

昨年に続き経済産業省と日本健康会議が共同で実施する健康経営優良法人認定制度において、優良な健康経営を実践している企業として「健康経営優良法人2024(大規模法人部門)」に認定されました。

日本ヒュームは、従業員一人一人が心身ともに健康で元気に働けることが企業の成長の原動力となり、明るい未来への発展につながることを考えております。様々な「わ」を通して従業員の健康増進と幸福度向上の実現に向けて健康経営に取り組むことを宣言します。

＜スローガン＞

『人の◎(和)、安全の◎(輪)、健康の◎(環)』



2024
健康経営優良法人
Health and productivity



能登地震対応

令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された心よりお見舞い申し上げます。

当社は事業継続計画に基づき、地震発生直後から社員とその家族の安否を確認するとともに、施工物件の被災状況についても調査を開始しました。

現在各関係機関に協力し、社員を現地に派遣し調査を進めております。

今後も、被災された地域の皆様の一日も早い復興のため総力をあげて対応してまいります。

また当社グループでは、被災された方々への支援および被災地の復旧・復興に役立てていただくため、役職員から義援金を募り、被災地域に寄付を行いました。

4-5

財務戦略

財務戦略（資本政策）

- 株主優待制度新設（2023年9月末より対象）
- 適合計画進捗状況

株主優待制度新設

株主優待制度新設

『日本ヒューム・プレミアム優待倶楽部』

- ・株主様への還元及び流動性の向上
- ・株主様との対話強化及び促進

毎年9月末及び3月末日現在の当社株主名簿に記載又は記録された600株以上保有の株主様が対象とし、ポイントを進呈。ポイント数に応じた株主優待を受け取ることができます。

総合利回り（配当25円+優待）

配当利回り：2.91%

高利回りを実現！

優待利回り：1.94%

総合利回り：2.91%+1.94% = **約5%**

※1株857円（2024/3/29）、600株保有で想定した場合

『日本ヒューム・プレミアム優待倶楽部』概要：

【URL】 <https://nipponhume.premiumyutaiclub.jp/>

適合計画進捗状況

1日平均売買代金の状況

当社は、2023年12月末において、プライム市場の上場維持基準に適合していることが確認出来ました。

2022年12月31日時点 15百万円

2023年12月31日時点 27百万円

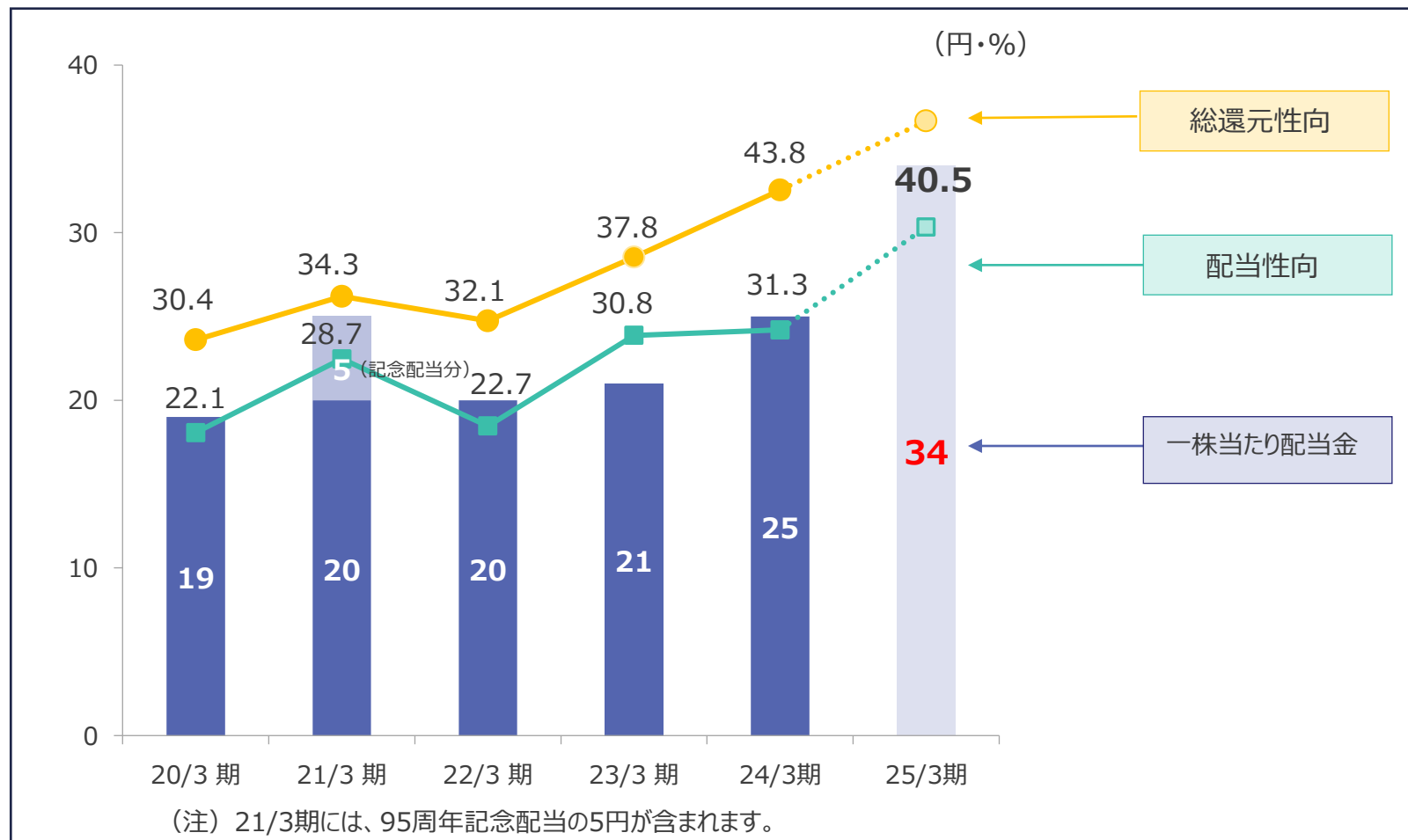
※上場維持基準 > 20百万円

当社グループは、今後も『23-27計画R』を着実に実行し、企業価値の更なる向上に努めて参ります。

財務戦略（株主還元）

➤ 安定的株主還元の向上

- ✓ 前期比**9円増配**の**34円**を予定
- ✓ 自己株式の取得も適時適切に行う



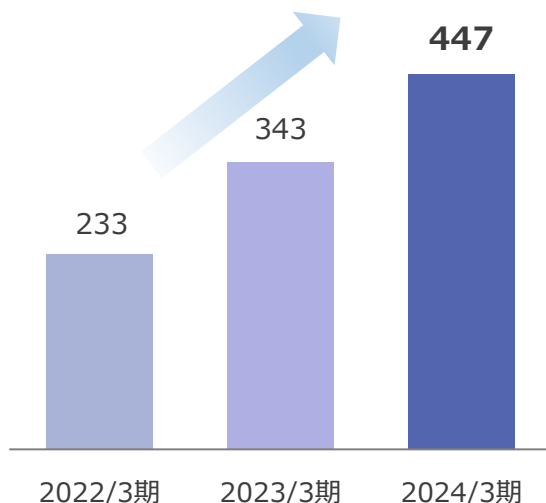
財務戦略（開発投資）

➤ 研究開発費・設備投資

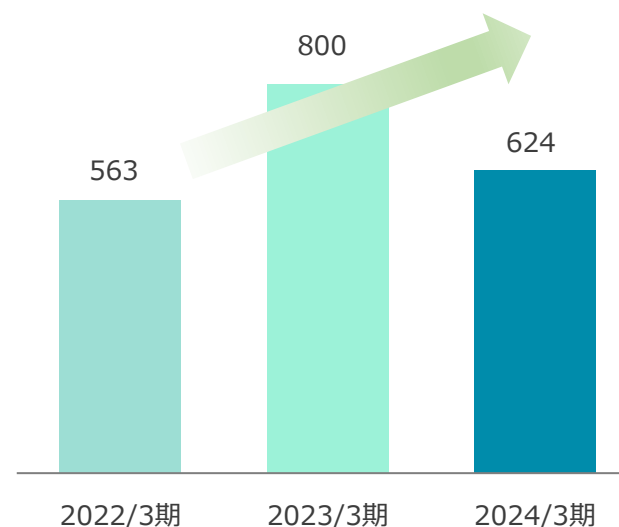
- 研究開発の強化とスピードアップに傾注
- 工場設備の増強による効率化の向上、環境に配慮した設備投資

【2024年3月期実績】

研究開発費 447百万円



設備投資額 624百万円



5

その他トピックス

その他トピックス

ハイウェイテクノフェア2023（第19回）に出展

ハイウェイテクノフェア2023に当社製品を出展し、PRしました。

開催地：東京ビッグサイト国際展示場

開催日時：2023年11月9日(木)～10日(金)

PR製品：e-CON、クイック壁高欄、EMC壁高欄、
BIM/CIMモデルによるプレキャスト製品のデータ納品



土木技術者女性の会の活動

土木技術者女性の会は、女性土木技術者が働きやすい環境作りや女性技術者の社会的評価の向上を主眼に活動している団体になります。当社は2022年3月より、サポーター会員となっています。



宇都宮ライトライン見学会



九州工事現場見学会

下水道展'23札幌に出展

「脱炭素」、「都市防水」、「下水道施設の防食」、「省人化」など下水道分野、建設業界を取り巻く課題を解決する製品や工法をPRしました。

開催地：札幌ドーム

期間：2023年8月1日～4日

PR製品：e-CON、ウエルマン貯留槽、PCウエル、壁高欄、合成鋼管他



【将来に関する記述等について】

本資料は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

今後、実際の業績は、金融市場の動向、経済の状況、競合の状況や地価の変動の他、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

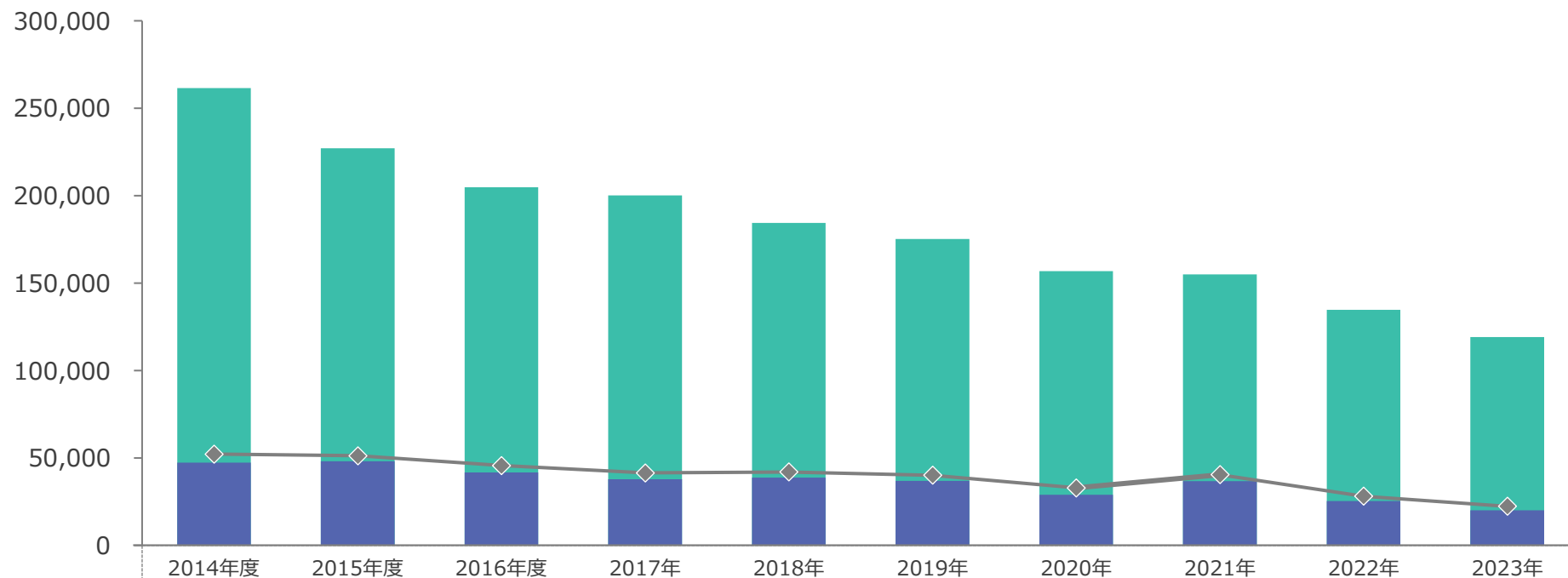
【数値表記について】

百万円未満は切り捨てで表示しております。そのため、一部合計数値が一致しないところがございます。

参考資料

業界データ（下水道関連事業）：ヒューム管需要推移

(単位：ton)

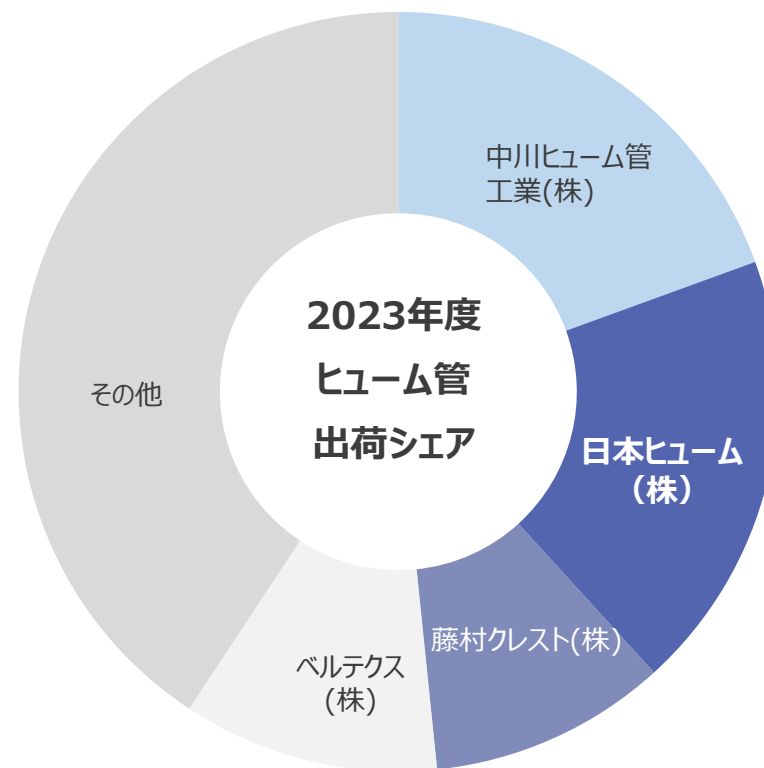


	2014年度	2015年度	2016年度	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
■ 全国	261,630	227,203	204,896	200,138	184,450	175,235	156,840	154,962	134,820	119,132
■ 日本ヒューム	47,440	48,143	41,716	37,864	38,818	36,941	29,071	36,862	25,398	20,145
◆ 日本ヒュームGr	52,219	51,315	45,747	41,480	42,023	40,148	32,914	40,474	28,219	22,389
日本ヒュームGrシェア率	20.0%	22.6%	22.3%	20.7%	22.8%	22.9%	21.0%	26.1%	20.9%	18.8%

(出典：全国ヒューム管協会資料より算出)

業界データ（下水道関連事業）：2023年度ヒューム管出荷実績

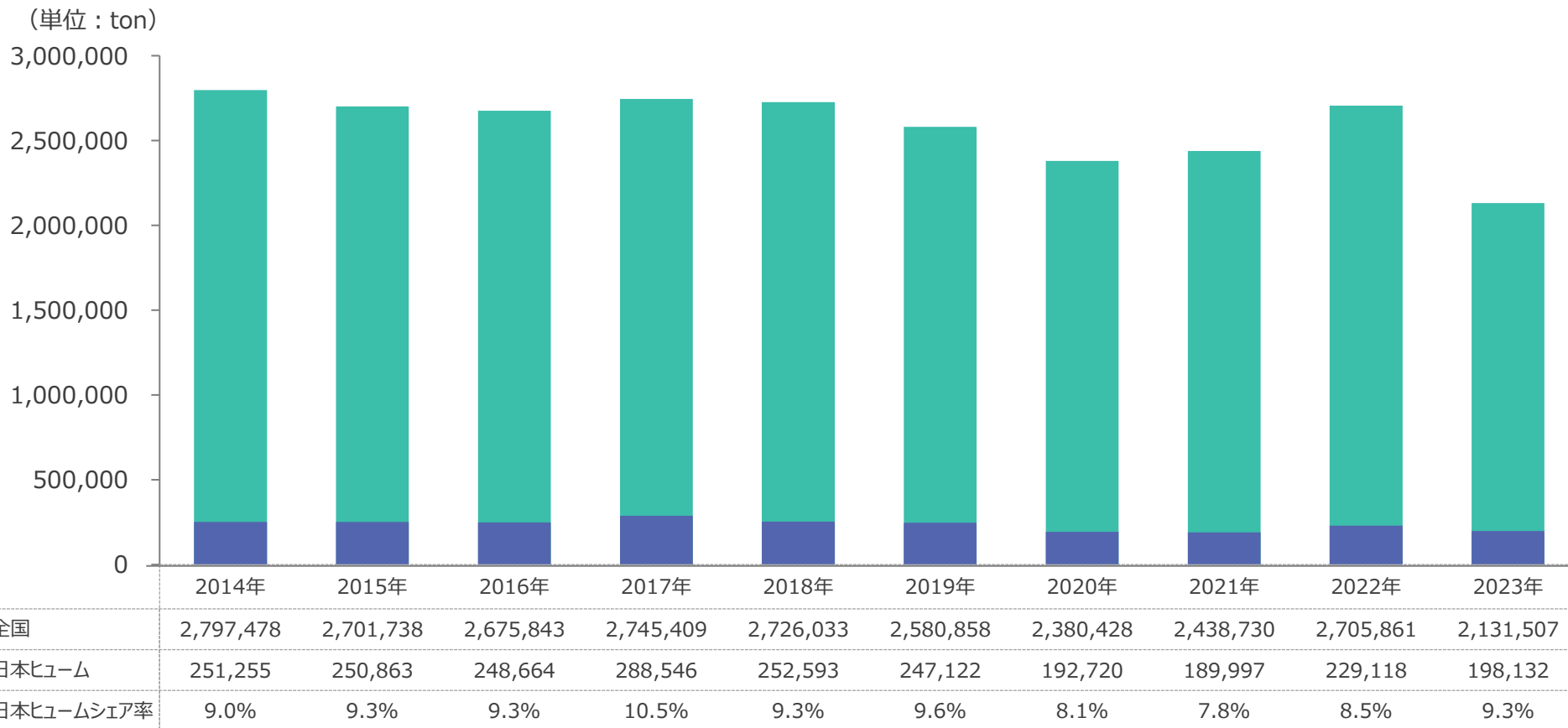
	会社名	出荷量 (ton)	シェア	前年 同期比
1	中川ヒューム管工業(株)	23,168	19.4%	+3.9%
2	日本ヒューム(株)	22,389	18.8%	-2.1%
3	藤村クレスト(株)	14,815	12.4%	+2.7%
4	ベルテクス(株)	12,999	10.9%	+2.9%
	その他	45,761	38.5%	-7.4%
	合計	119,132	-	-



※日本ヒューム(株)の数値は、持分法適用会社である
東京コンクリート工業(株)（株式40%保有）の数値を含みます

（出典：全国ヒューム管協会資料より算出）

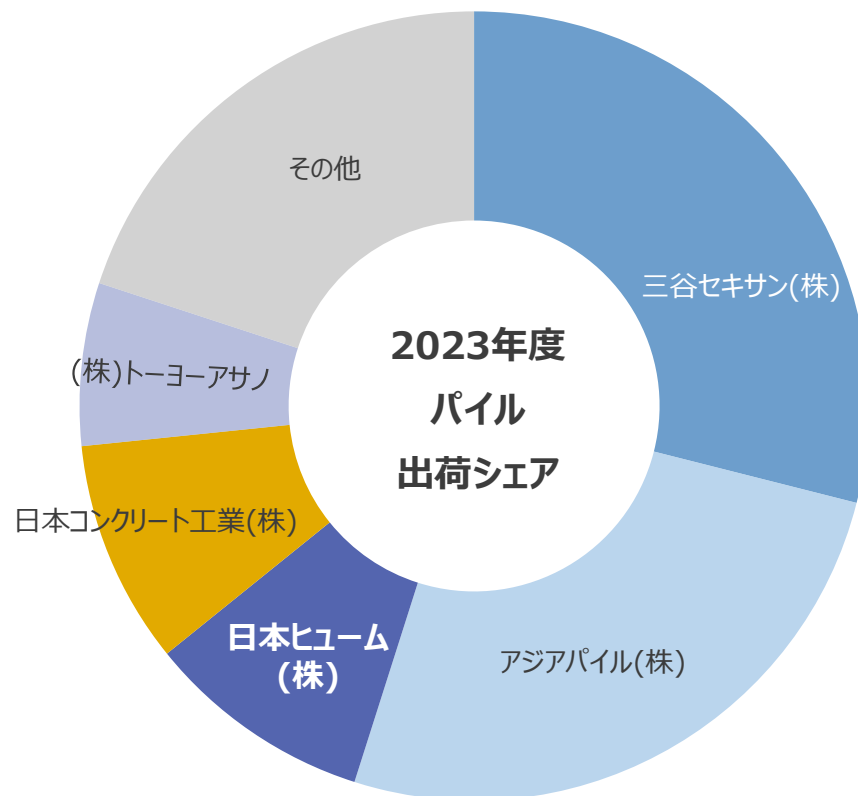
業界データ（基礎事業）：パイル需要推移



(出典：コンクリートパイル・ポール協会資料より算出)

業界データ（基礎事業）：2023年度パイル出荷実績

会社名	出荷量 (ton)	シェア	前年同期比
1 三谷セキサン(株)	617,058	28.9%	-0.7%
2 アジアパイル(株)	553,217	26.0%	-0.2%
3 日本ヒューム(株)	198,132	9.3%	+0.8%
4 日本コンクリート工業(株)	195,538	9.2%	-0.9%
5 (株)トーヨーアサノ	142,163	6.7%	+0.5%
6 前田製管(株)	105,085	4.9%	+1.5%
7 マナック(株)	53,578	2.5%	-0.6%
8 日本高圧コンクリート(株)	34,621	1.6%	0.0%
その他	232,115	10.9%	-0.4%
合計	2,131,507	-	-



(出典：コンクリートパイル・ポール協会資料より算出)